

1月 食育だより

令和6年1月9日(火)

牛島小学校

あけましておめでとうございます。
 本年も、食育だよりを通してさまざまな食育の取組・情報等をお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



年賀はがき
 3学期の給食は、1月10日(水)からです。安心・安全な給食作りに努めます。



冬休み中は、日本の伝統文化に触れる機会も多かったのではないのでしょうか。正月料理には、豊作や無病息災などの願いが込められていますが、昔も今も、その願いは変わらないことを実感します。

さて、今の学年やクラスで給食を食べるのもあとわずかです。給食時間を気持ちよく過ごせるように、今年の干支である「たつ(辰)」にちなみ、一人一人が給食の「たつ(達)」人を目指してみませんか？

手洗い達人 今年は大つ年！ 給食の“たつ人”を目指そう

お皿ピカピカ達人

盛り付け達人 よい姿勢達人 はし使い達人 後片付け達人

あけまして
 おめでとう

新春食育かるた

あ あけましておめでとう	朝ごはん、食へて始まる 天気な一日	お おいしいなー！ 笑顔で囲む 楽しい食卓	お あけましておめでとう
け あけましておめでとう	健康をこころ 食事、運動、よい睡眠	め 目いっぱい 感謝を示そう 食事のおいさじ	め あけましておめでとう
ま あけましておめでとう	「ま」(ま) 「ま」(ま) 和の食材は 健康の友	で 伝統を 受け継ぎ愛そう ほぐすの ふるまう	で あけましておめでとう
し あけましておめでとう	しっかりと よくかみ食べよう 目標ひと口30回	と とりすぎは 注意だ さとう、塩 あぶり	と あけましておめでとう
て あけましておめでとう	手洗いを よくしてウイルス シャットアウト	う うんち見て、 しっかりと確認 自分の健康	う あけましておめでとう

はるなくさ 春の七草

なずな はこべら ごぎょう
 ほとけのざ せり
 すずな すずしろ

1月7日は、「人日の節句(じんじつのせっく)」、この日に七草がゆを食べる習慣があります。

給食では11日(木)に、この春の七草を使って「七草ごはん」がでます。みなさん、春の七草を知っていますか。この機会に、知らない人は、覚えてみましょう。「すずな」は「かぶ」、「すずしろ」は「だいこん」のことです。

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



学校給食の起源は、明治22（1889）年にさかのぼります。山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこられない子供たちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。



戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。

アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から贈られた物資を使い、昭和22（1947）年1月に給食が再開しました。



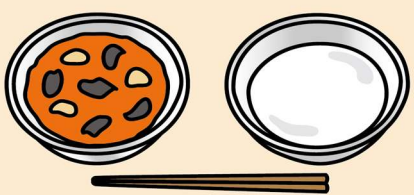
図 年齢別・年代別の平均身長の変遷



↑ 食料難により発育に影響

「学校保健統計調査 年齢別 平均身長の変遷 (明治33年度～平成24年度)」(文部科学省) より作成。
 ※明治33年度から昭和14年度までは「生徒児童身体検査統計」、昭和23年度から昭和34年度までは「学校衛生統計」、昭和35年度以降は「学校保健統計調査」として実施。

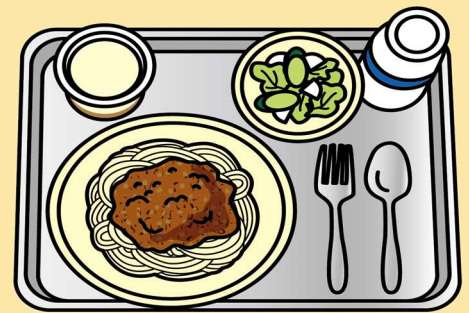
昭和 22 年ごろの給食



脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。

トマトシチュー・ミルク

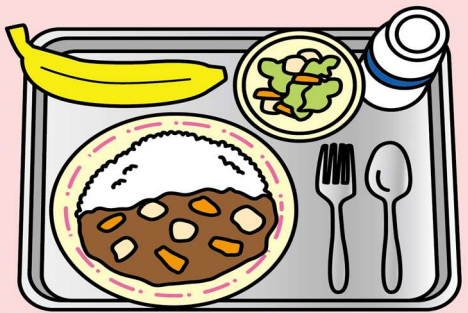
昭和 40 年代ごろの給食



パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

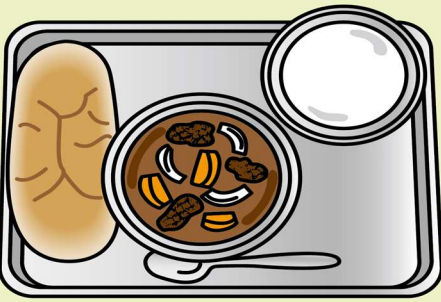
昭和 50 年代ごろの給食



給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

昭和 25 年ごろの給食



アメリカから寄贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

コッペパン・ミルク・カレーシチュー

★子供たちを取り巻く食環境が変化する中で、平成17（2005）年に「食育基本法」が成立。平成20（2008）年には、学校における食育の推進を図る観点から「学校給食法」が大幅に改正されました（2009年4月1日施行）。

時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も、子供たちを大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じて、おいしくいただきます。

